

としま 議会だより

令和元年12月 発行 (年4回発行) Toshima Village Council 2019.12 NO.87



中之島運動会の様子

TOPIX

○令和元年9月臨時会

9月12日～9月20日 (9日間)

条例の制定・改定 7件
補正予算 3件
契約 5件
指定管理者の指定 2件

○一般質問 5件

・日高久志	議員	・・・	2P.
・日高助廣	議員	・・・	2P.
・永田和彦	議員	・・・	3P.
・坂元 勇	議員	・・・	3P.
・田中秀治	議員	・・・	4P.

畜産振興による人口対策

○日高議員 基幹産業である畜産を大いに活用し、新たな雇用の場として新規参入者を受け入れ、村の重要課題である人口対策を講じるべきではないか。

○肥後村長 定住促進を進めるうえで重要な要素は「住宅」と「仕事」の確保。その中で仕事の確保に関して、畜産業に関しては本村で自立可能な産業のひとつであると捉えている。十島村における畜産の収益率は高く、定住初期の困難を乗り越えれば、定住の成功事例を増やしていけるものと確信している。現在の村からの支援としては、子牛導入預託事業や、出荷に伴う定期船運賃やダニ駆除剤購入費の補助などがある。



日高久志 議員

他にも、畜産には限らないが就業者育成事業もあり、現在までに15人が支援を受け、7人が現在も支援を受けている。本村の基幹産業は畜産業であり、定住へ繋げるうえでも、今後も積極的な対策を講じていきたい。

○日高議員 生産者以外にも牧草を作ったり、牛の給餌等に取組んでいる島もある。新たな雇用の場となるのではないか。また、共済組合の加入について動き出しているが、本土と異なる条件下の中で、諸課題にどう対応していくか。

○肥後村長 中之島において、耕作放棄地の利用と雇用創出を目的に牧草地づくりの取り組みを行っている。現業業務員や移住者が自立できる事業となるにはまだ時間がかかると思われるが、今後他島のモデル事業となると考えている。共済組合加入については協議を進めているが、地理的な課題の他にも多くの課題がある状況。国への陳情も積極的に行いながら、農家の方々が加入に向けた判断をするための情報収集に努めたい。

働き方改革

○日高議員 働き方改革の取り組みについて、効率的な行政運営のためには、職員の心身の負担軽減を優先し、全体の奉仕者として職務を全うする必要があると思うが考えを問う。

○肥後村長 時間外勤務について、原則平日の時間外は午後8時まで、休日については原則命令しないこととしている。また、多様な働き方ができる職場環境づくりの一環として、フレックスタイム制の試行、また有給休暇の推奨もを行っている。

○日高議員 人事評価制度については多くの課題もあると思うが、公平性、客観的な評価ができていると言えるか。

○肥後村長 人事評価については、自己申告に基づくものであることを原則としている。想像や憶測でなく、客観的な業績や職務遂行上の行動の事実に基づいていることを二重三重に確認することで、公平性や客観性を保っている。人事評価はやらなければならない制度であり、本来の目的に沿って最大の効果を発揮したいと考えている。

○日高議員 来年度より実施される会計年度任用職員制度について、経済性、効率性を同時達成するための制度であると思うが、多くの課題もあるのではないか。

○肥後村長 村の基本的な考え方として、必要な人員及び労働必要時間の確保を最優先するため、財源の問題のみで給料を調整するのではなく、労働する側の立場の面から、これまでの給与水準を下回らないものとするほか、国の定める基準に沿って対応する。



日高助廣 議員

自衛隊誘致・フェリー長期欠航

○永田議員 自衛隊誘致について村は座談会で説明を行ったが、住民の理解は得られたと考えているか。併せて、住民からどのような意見が出たか。またこの誘致の問題を、住民・行政・議会とともに協議検討する機会を創設すべきではないか。

○肥後村長 座談会において、冒頭、また終わりの挨拶の中で未利用となつている無人島の活用策として、自衛隊誘致を検討していること。また小島以外は有人島から数十キロ離れており、住民生活に特段影響ないと考えていることを伝えた。意見としては、「慎重に扱うべき」「自然豊かな十島村に、戦争に向かつての方針は反対である、慎重に対応して欲しい」などの意見の他、「無人島の活用に自



永田和彦 議員

衛隊誘致は賛成」「有人島にも自衛隊を誘致することを要望する」などといった意見もあった。協議の機会場については、まず議会と協議を行い、必要な時期に住民とも組織の設置を考えたい。

○永田議員 定期船について、長期欠航が続いた場合に住民が利用しやすい形にしようとして、ななしまを運航させることはできないか。また、週3便が利便性は高いが、夏場に週2便以上にわたって週3便を計画することは、逆に欠航のリスクが伴うと思うが。

○肥後村長 ななしまに関しては、指定管理者が利用者からの申請に基づいて運用しているものである。村が利用申請をとりまとめるのと7つの島を抱える中で、相当の混乱を招く恐れがある。また定期船の便数については、今後完全な週3便を目指している中で、現状の計画便数の確実な運行や実績が求められている。その中で、多客時期である夏場の週3便の運航が重要な役割を持っている。

職場環境づくり

○坂元議員 第6次十島村行政改革の中にも、働き方改革の推進が盛り込まれている。役場においてどのような点に重点を置いて、働きやすい環境づくりを推進するか。

○肥後村長 4月より時間外勤務の上限が定められている。また時間外勤務を減らすためには、個々の職員単位で研修や自己研さんによるスキルアップ、文書管理の最適化、事務処理マニュアルの作成などの事務の効率化が有効であると考えている。組織としては、職員の増員、課の統廃合、係を超えた人員配置、カパー体制の構築などが有効である。一方、職員の増員については業務と財源を検討し、慎重に検討を行いたい。



坂元 勇 議員

○坂元議員 本村役場では、近年退職者が多く懸念材料となっているが、何が原因でこのような状態になっているのか。

○肥後村長 仕事量あまりにも多いことがあげられる。当初は村政振興のために頑張りますと就職してくるが、出張から帰ってきても仕事が溜まって最終的には辞めていく現状がある。今後はできるだけ、時間外勤務はさせず、土日出張をやめさせようと考えている。

○坂元議員 令和2年度から全ての非常勤職員が会計年度任用職員に移行されるが、村民の働き方について特に変わるところは。

○肥後村長 村民の働き方については、出張所等の職員は会計年度任用職員となる。それ以外の業種については、ほとんどの村民が個人事業主であるので該当しないが、一次産業に従事している方については、今後ICTやIOT等の情報通信技術が進むこととなる。その中で、作業の省力化やスマート農業の研究などを行い、働き方改革に繋がっていききたい。



田中秀治 議員

○田中議員 SDGsとは、持続可能な開発目標のことであるが、いま多くの自治体、企業、大学等が關心を持って取り組んでいる。我々のような小さい自治体こそ、このSDGsを取り入れていくべきではないか。

○肥後村長 SDGsは17の達成目標であり、その中には十島村としてすでに達成されているものもあれば、されていない目標もある。また何らかの形で既に事業化してある物や、新たな意識をもって取り組まなければならないものもある。県内においても1団体が、モデル事業自治体として選定されている。今後他の自治体の取り組み状況も参考にしながら、検討・研究したい。

○田中議員 推奨作物の生産量については、拡大しているのか。年々減少しているように感じるが、これからのように農業振興を図っていくか。

○肥後村長 推奨作物として13品目を指定している中で、高齢化や担い手不足による出荷の減少は事実である。一番の課題は人的不足であり、現在は作業困難者への人的支援も行っている。移住者対策の強化も含めて、新たな制度の検討もしながら農業振興を図っていくべきと考える。

○田中議員 農作物にとって台風被害は甚大なものであるが、鉄骨ハウスなどの建物の導入を進めなければ、十島村の未来はない。

○肥後村長 非常に高額な施設となり、台風常襲地帯でもあり塩害を受けやすい十島村においては、栽培作物の収益から整備費用を回収することは非常に困難だと思われる。台風対策の重要性については村としても十分に理解しており、細かいソフト面での支援を充実させていきたい。

議決結果

十島村議会 令和元年9月議会 議決結果

17案件を審議 全て全会一致で原案の通り可決しました

開催期間 9月12日～9月20日 (9日間)

審議した案件 村長提出議案 17件

可決・採決状況 原案可決 17件

可決した主な議案

- ・令和元年度補正予算について (3件)
- ・条例制定、改正について (7件)
- ・契約の締結について (5件)
- ・指定管理者指定の件 (2件)

令和元年度補正予算

○一般会計	補正第2号	+	91,379千円	→	補正後	4,669,809千円
○船舶会計	補正第1号	+	27,144千円	→	補正後	1,085,930千円
○介護会計	補正第1号	+	7,753千円	→	補正後	95,554千円

条例の制定・改正

○十島村島暮らし体験施設の設置及び管理に関する条例制定について

悪石島へ島暮らし体験施設を整備することに伴い、施設の設置及び管理に関する必要な事項を定めるため条例の制定をしようとするもの。

ボランティアの受入については、これまで公民館やコミュニティセンターを活用してきたが、公民館を利用する地域行事との調整が解消され、スムーズな受け入れが可能になります。

○十島村介護予防拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

地域介護基盤整備事業（地域密着型サービス等整備助成事業 - 介護予防拠点）により、諏訪之瀬島に介護予防拠点施設が整備されることに伴い同施設を十島村介護予防拠点施設に加えるもの。

○十島村畜産施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

特定離島ふるさとおこし推進事業により実施している、諏訪之瀬島家畜保護施設 2 号棟が 9 月中に完成することに伴い、10 月より供用開始を行いたいため、十島村畜産施設の設置及び管理に関する条例の別表に施設を追加するもの。

○十島村ごみ処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

口之島生ごみ処理施設の整備及び焼却炉の換装がされることに伴い、ごみ処理施設の設置及び管理に関する必要な事項を定めるため、同施設を十島村ごみ処理施設に加えるもの。

生ごみ処理施設及び焼却炉施設の管理・運営については、現業業務員にお願いすることとし、ごみ収集については、週 2 回を予定している。



○地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例制定について

○十島村会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償等に関する条例制定について

○十島村職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について

地方公共団体における行政需要の多様化等に対応し、公務の能率的かつ適正な運営を推進するため地方公務員の臨時・非常勤職員について、特別職の任用、及び臨時的任用の適正を確保し、並びに一般職の会計年度任用職員の任用等に関する制度の明確化を図るとともに、会計年度任用職員に対する給付について主に規定するもの。

契約の締結

○令和元年度フェリーとしま 2 第一種中間検査及び一般工事請負契約の締結について

新船就航後初めての入渠から 9 ヶ月の期間経過での入渠であり、船体外装（特に船底）の擦れなど、現段階で最低限必要な整備内容で実施をするもの。



○平成 30 年度十島村諏訪之瀬島及び平島地区携帯電話等エリア整備工事
請負変更契約について

工事の進捗に伴い、材料費や労務費の増額や、設計費の減額を行ったことによるもの。

○諏訪之瀬島小中学校へき地寄宿舍整備工事請負契約の締結について

諏訪之瀬島において、へき地寄宿舍として木造平屋建てを1棟建設するものであり、内容としては、山海留学生用の4.5畳の寮室3室及び寮監用の居室(2室)、食堂、台所等。面積としては、110.91㎡となり、建築、電気、機械、外構等の工事施工となる。位置的には、諏訪之瀬島診療所の北側を予定しており、事業としては2か年で整備することとしている。

○東之浜港改修工事請負変更契約の締結について

防波堤の上部コンクリート工事についての変更契約で、契約締結後予算並びに執行残の整理が整ったことから、事業の促進を図る目的で追加施工とするもの。

○令和元年度海底光ケーブル等整備工事請負契約の締結について

既存のブロードバンド施設の機器故障によるサービス停止の改善や、回線速度の高速化に伴う工事である。全部の島が、光ケーブルで通信ができる環境を整えることとしており、今年度については、中之島から口之島、宝島から小宝島への海底光ケーブルの敷設工事、及び、局舎までの陸上の管路、並びに局舎内の工事を行うもの。

指定管理者の指定

○悪石島コミュニティの指定管理者指定について

悪石島コミュニティ協議会 会長 坂元 勇

○諏訪之瀬島家畜保護施設2号棟の指定管理者指定について

諏訪之瀬島畜産組合 組合長 山木 保

その他の議案

○十島村教育委員会委員の任命同意について

○新たな過疎対策法の制定に関する議会意見書の発議

9月議会ライブ中継視聴

島名	9/12	9/13	9/19	9/20	計
口之島	0	0	0	0	0
中之島	3	0	3	0	6
諏訪之瀬島	1	1	2	1	5
平島	8	1	2	1	12
悪石島	0	1	0	1	2
小宝島	0	1	1	1	3
宝島	1	2	0	1	4
計	13	6	8	5	32

編集後記

今回の議会だよりは、5名の議員の一般質問を中心に編集しています。9月の議会ライブ中継視聴者数は右のとおりです。ぜひ多数の視聴をお待ちしております。

議長 松下直志

議会広報調査特別委員会

委員長 永田和彦

副委員長 日高久志

委員 前田功一

委員 日高助廣

委員 田中秀治

委員 坂元 勇

委員 矢野紀道

議会事務局